

【平成29年度 須坂市立相森中学校グランドデザイン】

◇教育目標 「優しさと輝きのある中学生」
校訓「壮心不已」 合言葉「壮・優・輝」

【めざす生徒の4つの姿】

○人の良さに学びながら、自分の力で問題を解決しようとする生徒（輝）

○人、物、自然、社会に感謝し、美しいもの正しいものを大切にする生徒（優）

○相手の気持ちになって考え、進んで心開いた仲間づくりができる生徒（優）

○意味ある体験・経験を通して心身を鍛える生徒（壮）

本年度の重点的な取り組み

1 授業改善に向けて

(1) ねらい、めりはり、見とどけを意識した授業づくり

①生徒による授業評価アンケート（5月・10月・2月に実施） ②ICT機器の積極的な活用

③生徒が学んだことやわかったことを自分の言葉で伝え合う見とどけ ④通常学級で特別な支援を必要とする生徒に配慮した授業づくり

(2) 家庭学習の定着と充実（家庭学習徹底月間、家庭学習タイムの導入、手引きの見直しと活用、相森三校によるメディアコントロール）

2 不登校・不応答生徒への対応

(1) いじめ不登校等対策委員会を中心とした組織での対応

①生徒指導係会とセットにして隔週の定例化。突発的事案に対してすぐに開催し、組織で対応

②SC、保健室、相談室、自立学習室、SSWを含めた関係者などが連携したチームによる支援の充実

(2) ハイパーQ-Uや学校環境適応感尺度（アセス）を活用した、いじめや不登校等を防ぐための予防的な生徒指導

(3) 人権教育のカリキュラムの見直し。SST等を取り入れた人間関係づくりを重視した授業づくり

3 生徒の自主的・主体的な学校生活

(1) 生徒会スローガン「一心相造」を受け、生徒が3本柱（あいさつ、壮心清掃、歌声）の充実をはかれるよう師弟同行による支援を重視

(2) 運動会や音楽会などの行事における生徒の主体的な運営

学校運営の重点

①学力の保障 ②道徳教育の充実 ③集団適応力の育成 ④授業の充実 ⑤人権感覚の育成 ⑥進路の保障 ⑦特別支援教育の充実 ⑧健康の保持増進

【学力向上の取組】

(1) 授業改善の重点的な取組

- ・ねらい、めりはり、見とどけを意識した授業
- ・家庭学習の定着と充実

(2) 評価の検証方法

- ・毎学期、生徒の授業アンケートを実施し数値を向上させる
- ・C調査において、県平均を下回る生徒をP調査より減らす

(3) 指導力向上研修

- ・一度に複数の主事を招聘し、授業づくり研修会を行う
- ・重点教科【数学、人権教育、学級活動】による全校研修